

新時代の現場環境を考える 三笠エポックシリーズ「新登場!!」 提灯型投光機「エポックライト」 清涼ミストクーラー「エポックミスト」

三笠ではコンクリートバイブレータや輾圧機械など従来製品の改良や新機種の開発を進める一方で、お客様からの要望の多い、時代のニーズにあったユニークな商品を開発し、提供してまいります。その第一弾として、提灯型投光機「エポックライト」と清涼ミストクーラー「エポックミスト」の販売を開始しますのでご紹介します。

エポックライト (提灯型投光機)

最近の夜間工事や屋外の催しもの会場の照明は、スポットライト式に替わり人に優しいバルーン式の間接照明が多く使われるようになってきました。

特に道路の夜間工事現場では、通行人や車・バイク等のドライバーがランプを直視しても幻惑されない照明が必須となり、且つ十分な光量を確保し高効率・長寿命で経済性に優れたメタルハライドランプ (高輝度放電気灯HID)



エポックライト仕様

型 式	台車タイプ	三脚タイプ
電 圧 (V)	単相 100	
電 流		
始動時 (A)	8	
安定時 (A)	8	
種 類	メタルハライドランプ	
ラ ンプ		
(W) × (H)	700 × 1	
全光束 (ルーメン)	58000	
使用可能周囲温度 (°C)	-20°C ~ 40°C	
寸 法		
最大高さ (mm)	3070	3240
横幅 (mm)	840	1440
奥行 (mm)	440	1290
ボール収納時 (mm)	995	2100
重 量		
発電機無し (kg)	45	28
発電機付き (kg)	70	53
発電機 インバーター仕様	出力 0.9kw以上	



による間接照明が普及し、最適な作業環境が得られるようになってきました。

しかしながら、幅の広いバルーンでは、風で倒れたり、バルーンが工事の障害になったり、あるいはバルーン内部ファンのトラブル、空気で膨らませたバルーンの薄い布を工事車両が誤って引掛けて破ってしまうなど、工事に支障をきたしてしまう事がありました。又、屋内で使用する際のファンから発する騒音も問題となっていました。

今回、開発しました小型で円筒形のエポックライト700Wは、これらの点を改善し商品化致しました。ランプ円筒部の最外径は400Wバルーンの半分以下・1000Wバルーンの3分の1以下と小型化しました。ランプカバーの布の厚さもバルーンの5倍以上厚くし、更に耐紫外線を強化した材質に致しました。また、400Wのバルーンと同じ発電機での使用も可能で、明るさは1.5倍以上、しかも御納得いく価格で提供することができました。

エポックライトの特徴について御説明致します。

1. エポックライト・ランプ本体

ランプ上部にはスプリングを設け上下左右の振れを防止しました。エポックライト本体にはサイドからの衝撃を吸収させるスプリングダンパーを二箇所に設け、耐衝撃性を強化致しました。ランプ内には、照度アップと熱対策の為、反射板を設け、効率良く360度照射が可能となりました。更にファンレスの構造によりモーター音がなく、静粛性に優れております。また、防塵・防虫対策用フィルターを装備すると共に

に耐雨性に優れたカバーの材質と構造になっております。

2. 発電機搭載台車

台車には、小型防音型発電機0.9~1.6KVAを搭載可能とし、エポックライトを3mの高さまで上下調整可能な伸縮自在の三段式ポールを取付けております。四輪を装備しハンドル操作で簡単に移動可能です。作業時にはキックレバーにて両輪が同時にロックできます。更にワンタッチアウトトリガーにより転倒防止機能を高めました。投光部は簡単にポールから取り外しが出来ますのでランプを外せば積み重ねが可能です。

3. 三脚

伸縮可能な三脚により不整地でも簡単に水平にセットできます。また、移動車を取付けた安定器は片手で運搬可能で、三脚の中央部に吊下げることで三脚の安定性が増します。三脚、ポールは共にアルミ製で、軽量で簡単に運搬できます。

耐久性が高く簡単に設置可能な三笠エポックライト。台車と三脚タイプ共に夜間照明で御使用頂けますよう宜しくお願い致します。今後、皆様方のご要望にお答えし、オプション品も随時設定してまいりますので、お気軽にお声かけ下さい。

エポックミスト (清涼ミストクーラー)

地球温暖化の為か夏の最高気温が毎年更新される近年ですが、今年も夏の猛暑が気がかりとなる季節を迎えようとしています。このような猛暑を緩和し涼しい環境を提供するべく、三笠の新ジャンル商品として、水の気化熱を利用して温度を下げる、環境 (自然) に優しいエポックミストMWM-1002型を新しく販売する事になりました。エポックミストは、水圧を発生させる本体部と圧送された水をミスト化するノズルを取付けたリングセット部から構成され、リングセット部は弊社より既に発売しております送風機MPF-300Aや市販の工業用扇風機に取付けて使用します。100Vの電源と水道水 (蛇口) があれば、本体に水道水を直結



「池波正太郎エッセイシリーズ」

その5 (朝日文庫) を読んであれこれ思いつきを記述しよう。小説「鬼平犯科帳」「剣客商売」など読みふけたのは昭和50年代だったから私もかなり古くからの池波ファンだったことになる。ただし、あの頃の私は変な見栄張りや、大衆小説を読むことに引け目を感じていた。そんな「隠れファン」が高齢とともに胸をはって池波正太郎賛美を吹聴するようになった昨今である。

彼の時代小説多産は良く知られるが、他にこれほど大量のエッセイを書き残していたとは！と私は驚きなおかつその随筆の妙味に惚れこんでしまった。小説では感じ取れなかった池波正太郎という「人間」に感動心酔したのだ。小説作家になる前の10年あまり、長谷川伸に師事して新国劇の脚本に没頭熱中していたことも、エッセイによって私は初めて知ったのだった。小学生のころ両親の離婚で親戚を転々、兜町の株屋の店員、看板屋や機械工具など経て海軍に応召云々の多彩な経歴が、池波正太郎という作家の骨格を形成したのだろうが、随筆に見られるあの何事もおおらかに受容する明朗な性格は生来の気質だろう。

威張らない人、怒らない人、悲しみや不満は述べない人。引き換えて私は今日も新聞で見た「後期高齢者医療…」という無神経な役人の命名に立腹し不快を募らせた。「末期高齢…」ではないのがせめてもの慰めだが、明朗な池波さんならどんな反応をするだろうか？と考える。

わが社にすぐ近い懷石料理店や山の上ホテルとも馴染みだったと知ってますます親しみが湧くエッセイスト池波正太郎さん。惜哉。平成2年5月3日死去。享年67歳。

し、送風機に直径300mmのリングセットを装着する事により、ノズルで30~100ミクロンの微細なミストとなり送風機の風で直ちに蒸発し、この時の気化熱で周囲の気温を下げます。

本体の構造は水道水接続部に二重のメッシュフィルターで微細な異物を取

中国代理店会 盛大に開催 最優秀代理店を表彰… 乾杯の嵐



「イー・イー・パー」と発音される1月18日は「皆で商売繁盛させよう」という韻語にもなるので、あちらこちらで決起集会が行われていた。この日、三笠機械（上海）も、事務所近くの浦東ホリデーインホテルで、中国代理店会を開催した。

2002年11月上海に販売拠点を設立してからはじめての代理店会であり、中国全土から多くのお客様にご参集頂いた。三笠ニュース前号で紹介された新事務所のお披露目も兼ね、前日に上海に到着した代理店の方を営業員が

引率して事務所にも来訪頂いた。

IT企業さながらのモダンな事務所の中央には、製品の展示スペースが設けられ、それが妙にマッチしている。場所が変われば製品も社員もより生き生きと見えてくるから不思議だ。この1年で代理店の体制を固め、漸く実現した代理店会でもあった。

京谷社長からは「中国に於ける三笠ブランドの再構築」、「製品競争力の向上」、「アフターサービスの向上」を2008年の中国の販売方針とする事が発表され、代理店へのサポート体制の充

実だけでなくユーザーの製品満足度向上を目指してほしいという点が強調された。

新しい代理店も加わり、最近の内外事情と関連して三笠の販売状況が紹介された。三笠機械（上海）の総経理、営業本部長の代理店への感謝の言葉に続き、2007年の最優秀代理店3社の表彰と記念品の贈呈式も行われた。優秀代理店のスピーチでは、女性総経理みずから安全帽を被り現場を飛び回って売り込みを行い、優秀代理店として表彰された事が披露された。お客様と代理店との信頼関係があればこそ三笠製品が売れるというのはこの世界でも共通している。

また、今年から中国で販売をスタートするタンピングランマーMTXシリーズも大々的に発表された。

北京オリンピックも間近に迫る中国では、価格ばかりが追求されがちではあるが、品質重視の市場も育ちつつある。アジア市場で従来型ランマーの販



盛り上がった懇親会

売に力をいれる一方で、競合する輸入ブランドや中国ローカルメーカーの追従を許さず、最新モデルでの販売をスタートさせる。

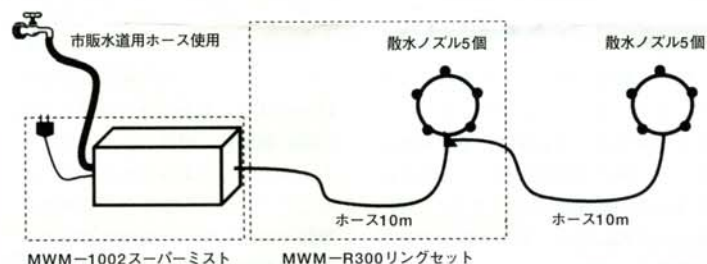
三笠の技術の粋を結集し、成型部品を多用したMTXシリーズは、そう簡単に真似られるものでもない。ランマーの機体バランスに主眼を置いた設計、斬新なデザイン、過酷な作業環境にも対応する耐久性等々、あらゆる角度から研究されて完成した「三笠の自信作」は中国市場でも正しく理解して頂けるものと確信している。

代理店会に続きフロアを変えて開かれた懇親会では、白酒の空瓶が山になっていく。乾杯の嵐に晒されながら、終わりの見えない懇親会が続く。お酒はビールやワインでなくやはり白酒である点は2008年も変わらない。

この勢いそのままに販売シーズンに突入できれば、「今年もいけるかも知れない」という言葉が確信に変わる。始まって2時間が経過してもいっこうにその勢いがとまらない。

中締めというのは終了の合図の筈でも、中国では2次会スタートの筈となる。用意された酒を飲みつくし漸く懇親会は終了した。薄れる記憶の中で、三々五々の解散となったが、昼の代理店会よりも夜の懇親会のほうが体力を消耗する中国代理店会であった。

海外営業部 田島記



MWM-1002 (本体)

(1頁よりつづき)

り除いた後、シースタンク（内蔵の貯水タンク）に水を溜め、モーター一体型のポンプにより吐出圧力65～70kg/cm²、毎分約1リットルの圧力水が吐出されます。本体1台に対して送風機4台迄セットが可能です。また、用途に応じて直径400mmのリングセットやフレキシブルホースセット、SUSパイプセット、分岐セットも用意しております。

また、便利な水タンク一体型のWM-500Kもございますので詳しくは弊社営業員にお問合わせ下さい。

エポックミスト仕様

型 式	電 圧 (V)	消費電力 (W)	周波数 (Hz)	回転数 (min-1 r.p.m.)	吐出水量 (L/min)	吐出圧力 (MPa)	寸法 (mm)	質量 (kg)
MWM-1002	100	200	50/60	1,420/1,720	0.9/1.0	7/6.5	13×270×26	16



MWM-R300を取付けた送風機

【主な用途】

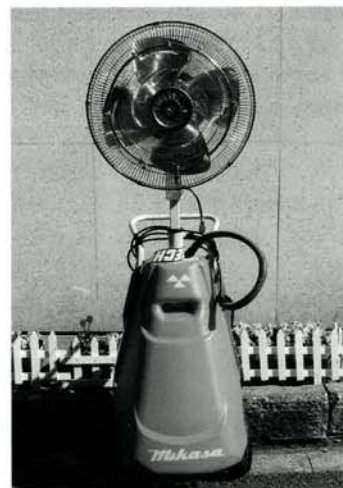
- 炎天下でのイベント会場、一般の土木・建築現場等の熱対策。
- 園芸、静電気の発生防止等の加湿対策。
- 製造工場等の粉塵対策。

【特徴】

- タイマー制御による自動間欠運転機能を備えた防水式の操作パネルを採用し、運転-停止時間を秒単位でのタイマー設定が可能です。自動及び手動運転を選べるので現場の状況に

応じた効率の良い気化の設定が出来ます。

- ポンプ保護の為、給水が行なわれない場合、過水センサー（シースタンクに設置）が働き自動的に停止致します。
- メッシュフィルタを内蔵していますので、ゴミがポンプに入るのを防ぎます。
- リングセットの各ノズル内部には、多孔質フィルターを採用しノズルの目詰りを軽減しています。
- 独自開発のセラミック製ノズルを採用し、微細な霧を広範囲に吐出させる事が出来ます。
- セラミック製ノズルには、逆止弁を組み込み、ミストの吐出停止時の水ダレを防止しています。



水タンク一体型のWM-500K

CONEXPO-CON/AGG '08

国際建設設備見本市を視察して

ラスベガスにて3月11日～15日の会期で開催されたCON-EXPO-CON/AGG 2008国際建設設備見本市を視察してきました。

サンフランシスコ経由でラスベガスのマッカラン国際空港に到着したのは日本を出て約11時間後。現地は到着日を含め滞在中の気候は晴れて、暑くも無く、寒くも無く丁度良い気温（体感温度で18～20℃くらいの間だと思いますが・・・）でした。年間平均晴天日約211日、年間平均晴天率80%以上を実感しました。砂漠地帯という事もあり、日本と異なり湿度も無く「さらっと」していました。

空港より、タクシーにて20分くらいでラスベガスのStripにある宿泊先へ到着しました。ホテルに入るなり、ロビーにはスロットマシン、ブラックジャックやルーレット、クラブス等のテーブルゲームやバー等の娯楽場となっており、夕方の時間帯もあって大勢の人で大変賑わっていました。

ホテルへ荷物を預けて早速、同行した社員と共に夕食とSTRIP観光に出掛けました。夜のラスベガスを歩くと、ネオンサインや元々明るい性格のアメリカの方が飲酒されている事も手伝ってか、街中の熱気は大変なものでした。また間近で見ると各ホテルの



三笠の発表している騒音値はどのような基準で測定されていますか？

弊社の総合カタログ等で公表しております。騒音の測定方法と騒音規制についてご説明いたします。

〔経緯〕

国内では、平成9年（1997年）建設省（現国土交通省）から《低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程》が発行され特定の建設機械について低騒音建設機械認定のための騒音基準値が設けられました。振動ローラーはこの規程の指定機種に入りますが、タンピングランマー、プレートコンパクター、パイプロコンパクターは含まれませんでした。国内では現在でもこれらの小型建設機械の騒音上限値の規制および騒音の測定方法の規定はありません。

弊社の主力振圧機械であるタンピングランマー、プレートコンパクター、パイプロコンパクター、ハンドガイド式振動ローラー等、オペレーターが機械の移動とともに歩行しながら運転する小型建設機械については国内外ともに騒音規制値並びに、明確な測定方法の規定が無い状況が続いていましたが、欧州では2000年5月に欧州新騒音指令《2000/14/EC》で動力を用いた全ての機械について騒音を規制する法律が公布され、小型建設機械については騒

音の上限値が規定されました。この指令に基づき騒音測定の詳細を定めたEN規格の最終案である《prEN500-4：2001》が2001年12月に発行され、EU域内で2002年1月より規制が発行となりました。弊社はこの最終規格案に定められたテストコースを弊社館林工場に新設し、2002年3月にドイツの認証機関から国内初のシステム認証を取得し、欧州向け製品の騒音測定を開始し欧州向け製品に対応するとともに製品データの蓄積を続け、測定結果の一部を使用し国内総合カタログ2006-2007版より掲載を開始しました。EN規格《prEN500-4：2001》は2006年9月に小改正を行い《EN500-4》として正式発行されました。

〔騒音の表示〕

騒音の大きさを表す単位はデシベル（dB）であることはご承知と思いますが、機械の騒音の大きさを表す騒音値は10年前と現在ではその内容が全く異なります。

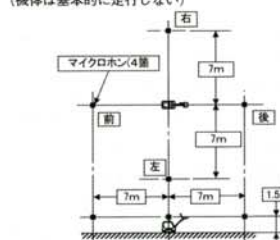
昔は騒音 $\bigcirc\bigcirc$ dB $\bigtriangleup$ mと表示し、騒音を発する機械の表面から前後左右方向に各 $\bigtriangleup$ m離れた4地点の騒音の平均が $\bigcirc\bigcirc$ dBと言う表現で、地震の強さを表す震度に相当する表現を用いていました。表示記号はLpAでLは騒音、pは騒音レベル、Aは耳の感度に近似した重み付け曲線で補整したことを示します。

従って、機械からの距離が変われば騒音値が異なり、機械の騒音を一義的に示すには不都合がありましたが、長い間馴染んでおり感覚的にも人間の聴覚と数値との関係が分かりやすいことから国内総合カタログ2005-2006版まで採用していました。

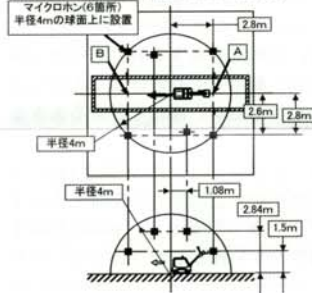
現在の機械の騒音表示は機械が放射する騒音の総エネルギーの平均を表わす《等価音響パワーレベル》になり、地震の大きさを表わすマグニチュードに相当する表現となりました。単位は昔と同じくdB表示ですが区別する為の記号がLwAです。Lは騒音、wはパワーレベル、Aは昔と同じく耳の感度に近似した重み付け曲線で補整したことを示します。

〔三笠の騒音測定〕

弊社は国内、海外向ともに欧州規格《prEN500-4：2001》に合致した測定方法に基づき、オペレーターの耳元騒音もあわせて測定を行っています。測定方法は幅2m、深さ0.5m、長さ10mのピットに地表面まで砕石を満し、コースの中央を基点に半径4mの仮想半球形面上の規定された6地点にマイクロホンを設置します。振圧機械を運転



三笠の測定方法（prEN500-4準拠）
（機械はA地点からB地点まで（5.65m）走行）
マイクロホン（6箇所）
半径4mの半球上に設置



し5.65mの規定距離を走行する間の騒音の平均値（等価騒音）を各マイクロホンごとに測定します。これを3回行い、各マイクロホンごとの3回の測定値の内 上位2者の平均値計6個から計算で1mの半球面上の騒音に換算した値が音響パワーレベルとなります。

国内向け製品の公表値はこの音響パワーレベルを用いています。アスファルト舗装の場合は砕石に変えて硬化したアスファルト路盤で測定した値です。

EU向け製品の場合は 機械のばらつきと測定値のばらつきを加味した保障音響パワーレベルを機体に表示する規定がありますので、3台の機械と同じ機械で5回の測定を行い、保障音響パワーレベル（LwA）を決め指定された書式の銘板（LWA）を機体に貼付しています。取扱説明書には保障音響パワーレベルとともに、3台の機械の音響パワーレベルの平均値を測定音響パワーレベル（LM）そしてオペレーターの耳元騒音についても表示をしています。

小型建機も人と環境への配慮を強く求められています。機械の安全性向上と同様、振動・騒音も欧州規格がISO規格に継承され、JIS規格に反映されつつあります。弊社は機械の安全性の強化・低騒音化・手元振動の低減に努め、更にお客様に満足いただける製品の開発に研究を重ねて参りますので引き続きのご愛顧をお願い申し上げます。

（2頁よりつづき）

外観も大変趣向を凝らした造りをしていると感じ・・・。床や壁の造形が自然石等を組込んだような造りで、さぞ工事は大変だろうな？と思っていたところ、弊社の京谷社長から『これは殆どコンクリート施工された物で、型枠形状を工夫し、各部材を上手く組合せ綺麗に塗装し、いかにも自然石を組込んだような造りに仕上げた物である』との説明を受け、コンクリート製品が多く活用されている事に感心しました。

ここで、大通りの事を何故“Main street”と呼ばずに“Strip”と呼ぶかというと、ラスベガス大通り（LAS VEGAS BOULEVARD）のことを俗に THE STRIP と呼び、“細長い帯状の物や帯状の土地”などを意味し、ネオンサインとホテルの灯りで煌々この南北に長い大通りを空から見るとまさにStrip状になっている事から、こう呼ばれている様です。

ではそろそろ本題のCONEXPO展に触れていきたいと思います、3/11（火）～15（土）にネバダ州 ラスベガス市にある、ラスベガスコンベンションセンターにて開催されました。

この展示会は、ドイツ及び中国の



“BAUMA展”やフランスの“INTERMAT展”と並ぶ世界3大展示会の一つで、今年は3年に一度の開催の年にあたり、建設及び建設関連産業の様々な関係者が一堂に会する、2008年度最大の国際展示会です。

この展示会には世界中の建設関連の最新製品、装置やテクノロジー、サービスが集められ展示されます。展示会場は屋内及び屋外の展示スペースを合わせて約17.5ha以上あり、各業界や種別により展示スペースが五つに別けて構成されていました。

展示会の来場者数は、世界中より約125,000人以上もの建設及び建設関連業界のあらゆる部門の関係者の来場があり、低迷している米国経済を反映する事無く屋内・屋外問わず大変混雑し、活気に溢れておりました。

三笠製品は、米国代理店であるMQ（MULTIQUIP）社のブースに主力製



品の一つとして展示されておりました。MQ社のブースは、屋内展示場はCENTRAL HALL 1、屋外展示場はSILVER LOT 1へ各々展示されておりました。どちらのブースにも大勢の来場者があり、MQ社のスタッフは各々の部署で忙しく来場者への対応、商品説明・受注交渉並びにデモンストレーション等の対応に追われておりました。MQ社のブースの周囲には、競合他社メーカーのブースも多く出展されており、ライバルメーカーも沢山の製品群を展示し、競合他社の存在を身近に感じ取る良い機会となりました。

今回の展示会で印象に残ったのは、国土が広大である為か建設工事を取り巻く環境が日本と異なっている事もあり、展示されている重機群も大型の物が多く、コンクリート関連の建機製品群も日本国内の需要とは違った形態の製品群が多く展示されていました。特

に、環境を重視した為か、壁・柱等の構造物をコンクリートで実物そっくり製造する工法や製造機械、牧場や耕作地の改造などに使われる機械や資材は、今後益々需要が増すと思われます。又、各エンジンメーカーを筆頭に排ガス規制対応も強化された機種が展示されており、防音、静音化・省エネ化含め対環境性能への要求が更に高まっている事を感じました。

私自身は海外の展示会視察は今回で2回目であり、以前の展示会では三笠産業としての出展でしたが、今回は米国代理店のブースでの出展と代理店社員の方々が対応されている姿を目の当たりにして、改めて三笠産業は多くの国々の代理店様や社員の皆様により支えていただいている事を実感すると共に感謝し、これからも国内外の多くの代理店様やお客様のニーズに即した商品を提供するべく設計・開発を行うように肝に銘じました。

最後になりましたが紙面をお借りして、ご来場いただきました全てのお客様と今回の出張でお世話になりました、MQ社社員の皆様や関係者の方々に心から感謝申し上げます。

開発部 岩崎記

第26回社員研修視察旅行 ニュージーランド、シンガポール

今回の10年勤続者海外研修旅行の参加者は札幌営業所の佐々木と海外営業部の風間、氷上の3名。2月17日～24日まで4泊8日（機内泊3回！）でニュージーランド、シンガポールの2カ国を視察してきました。

我々のコースはシンガポール経由のため、日本からシンガポールまで6時間半、シンガポールからニュージーランドまで10時間半と、移動時間は実に17時間。ワクワクした気分もさすがに長時間のフライトによる首、肩、お尻の痛みにやがとダウン……。それでも日付が変わってオークランド空港に降り立つと、燦々と輝く太陽の迎えを受け、先程までの疲れが一気に吹き飛びました。

オークランドから宿泊先のバイヒアへは車で移動。車窓の風景は降り注ぐ太陽の日差しに照らされた広大な田園地帯、草原を駆け抜ける羊の群れ……。のはずなのに？職業病なのか気になるのは工事現場。三笠のランマやプレートを見かけるたびに車内に沸き立つ「あった！あそこ！」の歓声。日本から旅行に来て工事現場を目にする不思議な3人にドライバーも不思議モード全開になりつつも、理由を聞いて大いに納得しております。

我々が泊まったバイヒアはベイ・オブ・アイランズ（鳥々の湾）と呼ばれる観光の中心地で、大小144の美しい島が点在する最も人気のあるマリニリゾート地です。早速、食事がでたら中心街を探索に出かけました。とりあえずニュージーランドではポピュラーな料理の一つであるフィッシュアンドチップスを注文！ニュージーランドの人達は、こういったカロリーの高い食事を好む



ホール・イン・ザロック

せいか日本人と比べると非常に大柄な人が多く、日本では巨漢扱いされる日さんが普通に見えるほどでした。

3日目は『ワンダラーツアー』に参加。ニュージーランド原産の巨大なカウリの木が茂る『ブケティカウリの森』を散策し、『90マイルビーチ』（名の通り長い海岸）と呼ばれる砂浜の上をバスで豪快に走り抜け、『テバキストリーム』とよばれる巨大な砂丘の上からボディボードで滑り降りたりと大自然を満喫しました。またニュージーランドの最北端の『ケープ・レインガ』には海拔290メートルの崖の上に灯台があり、ほぼ360度眺望が開けています。ここから見たタスマン海と太平洋の2つの海がぶつかり合うダイナミックな景観には思わず息を飲みました。

翌日は『ホール・イン・ザロック・クルーズ』に参加。高速双胴船に乗り、湾内に浮かぶ島々の間を遊覧しながら美しい砂浜や湾内を景観した後、ハイライトの『ホール・イン・ザロック』へ。生憎、波が高く大きな岩にばかりあった穴を船でくぐり抜けることができませんでしたが、海にそびえる大きな岩はまさに圧巻でした。

さて、ニュージーランド滞在4日目はバイヒアから北島最大の都市であるオークランドへ移動です。約4時間の車中はひたすら睡眠をむさぼっていた

め、いきなりオークランドの街並みを目にしてビックリ！「これが同じ国？」バイヒアは北海道の地方都市を思わせるのどかな雰囲気なのに対し、オークランドは高層ビルが立ち並ぶ都会の顔を見せていました。

オークランドでは、創業27年を迎えるニュージーランドの三笠代理店 Youngman Richardson & Co Ltd 社を訪ねるのを楽しみにしておりました。社長のTony氏じきじきにホテルまで迎えに来て頂き、会社に向くと広々とした倉庫には製品在庫は勿論、部品在庫も数多く取り揃え、さらにはサービス用の工具もしっかり完備されておりました。オフィスには日本人形や、群馬県館林市の有名な土産品「分福茶釜」のタスキの置物が飾られており、親近感がある事が伺えました。

夜は会長であるTim氏から夕食のお誘いを受け、プール付きの庭でバーベキューパーティーというちょっと贅沢な夜を過ごしました。楽しい会話の中、ビールとワインに酔いしれ、肉やソーセージを次から次へと平らげ、オークランド最後の夜は、忘れられない素晴らしい一夜となりました。

翌日は買い物と観光に費やし、日付が変わった午前1時発の便でシンガポールへ移動しました。日本行きのフライトまで17時間しかありませんが、このわずかな時間を利用してシンガポール街中をくまなく散策しました。

ここでのお目当ては何と言っても『マライオン』。有名な口から水を出



YR社

三笠流 流 流 流



しているオリジナルのマライオンとセンターサウにあるマライオンタワーの両方を見学。マライオンタワーからシンガポールの町並みを一望してからいざ買い物へ。免税店では、何故か店員さんから中国語で話しかけられる事が多く、そのたびに片言の中国語で、「私は中国人ではありません。中国語が判りません」と応え続けました。英会話ばかりでなく、発展著しい中国についても言葉や文化をもっと勉強すれば海外の旅もより楽しく充実するんだと思いを新たに帰国の途に着きました。

我々3人をあたたかく歓迎してくれた Youngman Richardson & Co Ltd 社のTim会長とTony社長ならびに社員の皆様には心より感謝申し上げます。佐々木、氷上記

三笠クイズ VOL.69

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、最近話題のことがばか浮かんできます。さて何でしょう。



ヒント
ヨコのかぎ
ア. 室内で行うスポーツで「インドラサッカー」とも呼ばれます。選手は5人で競技人口は年々増えています。
イ. 耳を英語で言う？
ウ. 祭りなどで飾り物を引く車のこと。
エ. 緊張になることを「○○を洗う」人の成功を邪魔することを「○○を引っ張る」と言います。
オ. 日の出から日没までを「日没から日の出まで」を？
カ. 日本でも大人気の米TVドラマ「24」。主役はこの人「○○○○・パウアー」。

タテのかぎ
A. 体操や剣道で先生が吹きます。少し前にはハンドボールの試合の不正行為で「中東の○○」と言われました。
B. スズキ目に含まれる魚の総称。フライや照り焼きにして食べると格別です。
C. パッケージに入ります。
D. 刃物を研ぐ石のこと。
E. けんかして仲直りするのを「もとの○○におさまる」と言います。
F. お金、食、出世と深すぎるのも程々に。
G. 旧ソビエト連邦時代から使用されているロシア通貨です。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業（会社名）をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社「三笠ニュース」編集室

●締切り 2008年5月20日（火）消印有効

VOL.68の答えは「ミシュラン」でした。

次の10名様に図書カードをお送りしました。

伊藤麻里子様（柴波郡） 河原大広様（土浦市） 丸岡孝典様（徳島市）
秦孝延様（上野原市） 宇山隆雄様（多摩市） 泉宗子様（上益城郡）
萬谷静子様（五所川原市） 新宗祐様（所沢市） 手塚直美様（宮崎市）
佐々木久子様（駒ヶ根市）

氏名 齊藤 秀郎

入社 平成18年

出身地 埼玉県

所属 三笠産業株式会社

開発部開発二課



一日頃どんな仕事をしていますか？

タンピングランナーの開発を担当しています。ランナーは国内外のお客様に広く支持されている製品ですので、開発には常にグローバルな視野と視点に立ち、新技術導入と環境性能向上を主眼とし設計・開発・評価検証をしています。

今最も関心を持っていることは何ですか？

学生時代からの趣味の一つとして「洋菓子作り」をしています。色々な種類の洋菓子を作ってみたいと思い、時々ですが街の教室に通うことにしました。今までは本やネット検索のレシピを頼りに作っていましたが、同じお菓子でも教室でポイントやコツを直接指導してもらって、少しの違いで驚くほど美味しくできることを学びました。

読者の皆様にも食べる楽しみだけでなく、作る楽しみを是非味わって頂きたいと思っています。

お客様に一言どうぞ

市場のニーズは常に変わるので、完璧なものは世の中にはまだ存在しないという事を胸に抱き、熱意と向上心を持ち続け日々、製品開発に磨きをかけております。お客様の意見があつてこそその向上でもあり、お客様が商品を見て、触って感じ「何かインパクトのある「あこれだ!!」」と思つて頂ける様な斬新な製品開発に今後も全力で取り組んでまいります。

我・ら・三・笠・ピ・ー・プ・ル・ズ



氏名 神崎 宏之

入社 平成4年

出身地 福岡県

所属 三笠建設機械株式会社

営業サービス部サービス課

一日頃どんな仕事をしていますか？

大阪のサービスセンターで三笠製品の修理全般と製品の出荷を担当しています。

今最も関心を持っていることは何ですか？

それまで比較的マイナーなスポーツと思われていた卓球が福原愛ちゃんの登場以降テレビで放映される機会が多くなりました。以前卓球をやっていた私としては観戦の機会が増えて喜んでおります。先日中国・広州で開催された世界卓球を興味深く見ておりました。最近の試合を見ていて感じるのは、私が中学の時にやっていたのとは違い、試合の流れがとても速く感じられることです。今は観戦専門でほとんどラケットを握ることはありませんが、久しぶりにやってみたく思いました。また、今年は北京でオリンピックが開催されます。卓球の代表に選ばれた皆さんにはメダル目指して頑張ってください。

お客様に一言どうぞ

営業サービス部サービス課に配属になって3年経過しました。まだまだ経験不足の面もありますが、皆様のお役に立てますよう日々努力しております。これからも宜しくお願いします。